

7月ですね

<熱中症に注意>

職員室の予定ボードには、環境省から発表される「熱中症警戒アラート」情報が毎日表示されています。三浦地区に出される暑さ指数(WBGT)の実測値は、このところ“**嚴重警戒**”、“**危険**”を行ったり来たりです。朝の打ち合わせで警戒情報を確認し、活動の場所や内容を変更して対応しています。各教室や特別教室はエアコンで冷やし、体育館で運動する際には、大きな扇風機を稼働させ、熱中症に気を付けて行っています。新型コロナウイルス感染防止のため、体育等激しい運動以外はマスクの着用、換気、そして熱中症対策のための水分補給、更に省エネと、行うことはたくさんありますが、生徒たちは、今自分たちができることを、精一杯行い、毎日学習に励んでいます。



<AB交流活動>

職業の授業やコミュニケーション、部活動等、肢体不自由教育部門(A部門)、知的障害教育部門(B部門)の生徒と一緒に学習する様子が見られます。今年度より、両部門の日課表の時刻をそろえたことで、交流が可能となりました。

7月1日(金)、A部門1年生がスクールバスで遠足に出掛けましたが、B部門の生徒たちが何名か駆けつけ、担任の先生と一緒に近くまで来て見送っていました。手を振りながら「行ってらっしゃい。」と皆で声をかけると、バスの中からもそれに応えて手を挙げる様子が見られました。とても暑い日、心もホットになる一コマでした。

<サプライズ>

6月20日から7月1日まで、B部門2年生は現場実習に臨みました。それに先立って、B部門全体で2年生を激励する会が体育館で行われました。

激励会では2年生一人ずつ実習での目標をスクリーンに映し、マイクで意気込みを語ります。1、3年生は2年生が発表する様子をしっかりと聞いていました。その様子からは、実習に出掛ける2年生を応援する気持ちが伝わってきました。

激励会終了後、椅子の片付けのためその場に残った3年生ですが、ここで一つサプライズがありました。司会を務めていた3年の生徒、実は他の3年生とは時期を異にし、翌週から現場実習に行くことになっていました。先生の呼びかけで、急遽その生徒のために実習激励会を行うことになりました。実は生徒たち皆で激励会の練習をしていたようです。始まりの言葉に続き「生徒への言葉」のところでは、担当の生徒が、しっかりと励ましの言葉を伝えていました。実習に向かう生徒の挨拶と、皆の大きな拍手で会は終了しました。椅子片付けまでのわずかの時間でしたが、とても粹で暖かな会でした。

副校長 小川